

◆池田温泉の利用者減対策 サービス向上と周辺の活性化を



野網義一 議員

池田温泉、利用者増対策

Q 温泉利用客が減りつつある。金曜日以外の平日の再入浴「ふくしの湯」の入浴回数が増・ジェットバスを南側にも増設などの提案をしたい。

努力している 町長

A 1日当たり、20〜40人の利用がある。6月20日から月・火・木曜日にも再入浴を拡げた。

「ふくしの湯」は今まで1日に3回。7月からは午後6時から1回増やして4回にした。

池田温泉は本館・新館の北と南で違う風呂を一週間交代で楽しんでもらえる造り。ジェットバスは人気があるが打たせ湯を楽しむ人もいる。南側にジェットバスを作るとなれば相当の費用がかかる。いろんな面で対応しながら今後十分に検討したい。

道の駅で駐車場の拡張・整備を

Q 親子連れが周辺でゆつくり過ごせる場所がないし、駐車場が狭すぎる。花を中心に環境整備をよくしてはどうか。

トンネル開通により交通量が増加する。そのお客をしっかりと引き止めるためには道の駅の機能も必要だ。今から取り組まないと手遅れになる。

誘客を図る必要がある 町長

A 地域の皆さんと十分に話し合いをしながら、町内の資源を有効活用し、周辺とも競合して誘客を図る必要があると考える。



「梅谷トンネル」は納得できない、協議の場を

Q 主要地方道岐阜関ヶ原線の池田町片山〜垂井町梅谷間で現在トンネル掘削中の(仮称)梅谷トンネルは延長2,156m(池田工区は延長1,656m)。地理的に見ても池田町側の方が長い。名神を利用してトンネル

を抜けると池田温泉というロケーションを考えたらこの仮称は納得いかない。トンネルの名称について協議する場を設けてほしい。

A 6月議会終了後、垂井町と協議する。お互いに今は(仮称)梅谷トンネルになっているが、それにはこだわらずにしこりを残さないようにしたい。



いつでも、見学できますよ。(仮称)梅谷トンネル